




特定非営利活動法人
アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

2022年
通常総会議案書



日時:2022年6月25日(土)13:30~14:30
場所:アジアの誇り・プレアビヒア日本協会
お茶の水事務所
(住所:東京都千代田区神田駿河台2丁目4-4)

目 次

1	第13期総会 議事次第	2
2	第1号議案：2021年度 事業報告及び活動決算について	3
3	第2号議案：2021年度決算報告及び会計監査報告について	9
4	第3号議案：役員を選任、職務報酬および顧問について	15
5	報 告 2022年度 事業計画及び収支予算について	16

1 第13期総会 議事次第

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

2022年 総会 議事次第

1. 開会

2. 理事長挨拶

3. 議長選出

4. 議事録署名人の選出

5. 議事

第1号議案 2021年度 事業報告及び活動決算について

第2号議案 2021年度 決算報告及び会計監査報告について

第3号議案 役員を選任、職務報酬および顧問について

報 告 2022年度 事業計画及び収支予算について

6. 閉会

2 第1号議案：2021年度 事業報告及び活動決算について

2021年4月～2022年3月の事業は、世界的な新型コロナウイルスの流行下にあり、カンボジアも例外なく入国の厳しい措置が実行され、協会の渡航も厳しい1年間でありました。このため、現地では、予定されたNGO連携事業（日本政府外務省）とイオン環境財団からの支援による環境事業（植林）の実施を中心とする活動となりました。

2.1 自主事業

当初、自主事業としては、（1）開発支援事業（エコパークにおける農業技術移転）、（2）助成・受託事業申請活動を計画しましたが、新型コロナウイルスの流行に伴い現地渡航が制限されたことから、（1）の開発支援では十分な活動が困難となりました。その中で、イオン環境財団からの支援による「人と自然がはぐくむ豊かな森づくり」が、公園づくりとして推進されました。

（2）の助成・受託事業申請活動では、JICA 草の根支援事業及び緑の募金事業への申請を検討いたしましたが、現地との協議も十分にできず申請には至りませんでした。引き続き次年度以降の申請に向けて現地との協議を進めております。

No	申請先	事業名	申請概要	結果
1	国土緑化推進機構	緑の募金 SDGs 貢献使途限定募金	世界文化遺産プレアビヒア寺院地域の森創り(150万円)	2021年12月15日 候補事業採択
2	国土緑化推進機構	緑の募金公募	世界文化遺産プレアビヒア寺院地域の森創り(150万円)	2022年3月15日 申請提出
3	JICA	草の根支援事業	エコビレッジでの農業技術移転、農業教育	JICA 東京都複数回 協議。次年度申請 に向け調整。

2.2 日本 NGO 連携無償資金協力事業

エコビレッジにおける農業開発強化を目的に、溜池建設、農業生産力向上を目指したN連事業が2021年9月24日に完成となった。事業は当初、2020年2月25日～2021年2月24日の期間で9,800,000円予算が認可されたが、新型コロナウイルスの影響で2021年9月24日までの工期延長となった。

2021年度は主に、2020年度に完成した溜池（6,000m³規模3池）からの灌漑用水を試験農家21軒に配水し、野菜の作付けを行い、収穫を試みた。その結果、6月から9月の期間で、参加農家1軒当たりの平均で月ごとに100\$相当の販売額を達成できる収穫を得る事が出来ました。

現地エコビレッジにおきましても、新型コロナウイルスの発生がみられ、2021年7月～8月にかけて周辺地域でのロックダウンも行われ、マーケットでの販売が中止され、試験参加農家も外出が制限されるなどに直面しましたが、幸いにもエコビレッジの中では

感染者の発生がありませんでした。

事業完了後も、現地の農家の方々と意見交換、情報交換を継続し、さらなる農業基盤の拡充に向けたテレビ会議（ZOOM 会議）を毎月 2 回実施してきております。その内容から、現地は農業生産の高度化を強く求めており、①農業技術の研修、移転機会の要望、②農業機械の導入による生産体制の拡充、が明らかとなってきました。



N 連事業実施区域



2021 年 7 月収穫



2021 年 12 月収穫



2022 年 1 月収穫



2022 年 2 月収穫



2021年12月植樹樹木の生長



2022年2月1年後の溜池



2021年12月現地とのテレビ会議



2022年2月現地とのテレビ会議

2.3 イオン環境活動事業

イオン環境活動はエコビレッジにおける植樹と環境保全の教育活動を、2021年4月から2022年3月までの期間で実施しました。しかしながら、当事業も新型コロナウイルスの影響を受けて、当初の計画では2021年7月に植樹祭を開催し、地域の方々主体で、将来の公園を目指し、3000本の植樹を目指しましたが、実際には2021年12月の植樹の実施にずれ込み、その後1月、3月の植樹により目標の3,000本を実施出来ました。



2021年12月植樹



2021年12月植樹



2022年1月植樹



2022年3月植樹

2.4 その他事業

2.4.1 定時総会開催

日時：2021年6月26日（土曜日）

場所：ZOOM 会議

出席：会員14名中委任状を含め12名（75%）出席して成立

2.3.2 理事会開催

2021 理事会は以下のとおり開催。

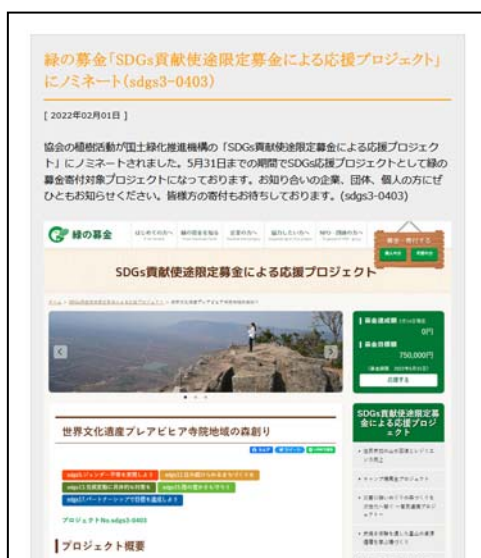
開催月日	審議・報告事項	開催月日	審議・報告事項
4月24日	決算、総会予定	10月30日	JICA カンボジア現地訪問計画、イオン事業報告
5月29日	総会議事、賛助会員加入	11月27日	JICA 草の根協議結果、JICA 現地来訪結果
6月26日	総会審議決算、事業計画	12月25日	N 連大使館提出、緑の募金申請、現地時事業報告
7月24日	東京都報告、助成金報告 トヨタ報告書提出	1月22日	緑の募金採択、事業進捗、 経理報告、ニュースレター 発行計画
8月21日	賛助会員報告、N 連工期 延長、	2月26日	決算予定、イオン事業最終 報告予定、現地渡航情報
10月02日	事業報告、N 連最終報告 理事長外務大臣表彰	3月26日	N 連返金手続き、緑の募金 申請、決算報告

2.4.1 その他（広報事業）

ホームページ改定を実施。新着情報を4月から3月の期間で、21件公表。

公表日付	項目
2022.02.15	第4号ニュースレター
2022.02.01	緑の募金「SDGs 貢献使途限定募金による応援プロジェクト」にノミネート (sdgs3-0403)
2021.12.15	N 連試験耕作とイオン環境事業
2021.11.20	雨季が終わり乾季を迎えています
2021.10.30	NGO 連携無償資金協力 (N 連) 事業報告 (試験耕作)
2021.09.29	ICC 会議報告
2021.09.24	NGO 連携無償資金協力 (N 連) 事業報告 (試験耕作)
2021.09.15	NGO 連携無償資金協力 (N 連) 事業報告 (試験耕作)
2021.08.20	外務大臣表彰

2021.08.15	NGO 連携無償資金協力 (N 連) 事業報告 (試験耕作)
2021.07.22	N連第 3 回事業変更手続き完了
2021.07.21	2020 年度事業報告書提出 (活動報告書)
2021.07.15	NGO 連携無償資金協力 (N 連) 事業報告 (試験耕作)
2021.06.26	2021 年通常総会開催
2021.06.15	NGO 連携無償資金協力 (N 連) 事業報告 (試験耕作)
2021.06.11	N 連第 2 回事業変更手続き完了
2021.05.30	収穫に喜ぶ現地
2021.05.15	順調な生育
2021.04.30	リモート会議開催 (試験耕作)
2021.04.19	リモート会議開催 (試験耕作)
2021.04.04	植樹管理 (給水)



2022.02.01 緑の募金ノミネート



2021.09.29 ICC 会議報告

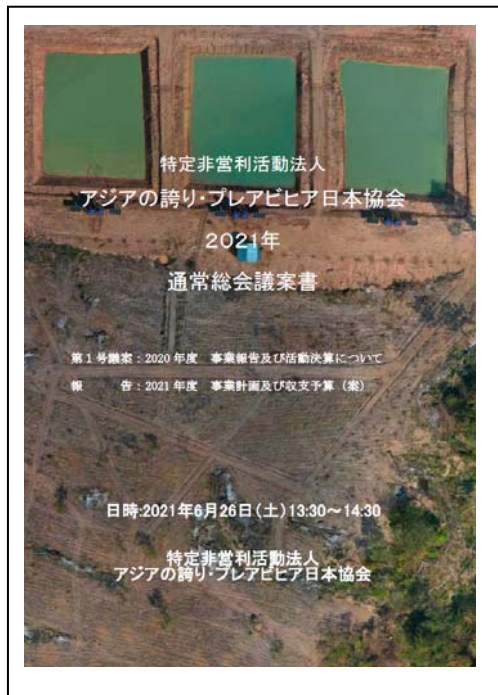


2021.08.20 外務大臣表彰



2022.02.15 ニュースレター発行

事業報告書刊行



3 第2号議案：2021年度決算報告及び会計監査報告について

決 算 報 告 書

第 13 期

自 2021 年 4 月 1 日

至 2022 年 3 月 31 日

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

東京都千代田区神田駿河台2丁目4-4
明治書房ビル2階B

貸借対照表

特非) アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

[税込] (単位: 円)

2022年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		流動負債合計	0
小口 現金	835	【固定負債】	
普通 預金	189,433	長期借入金	1,733,156
現金・預金 計	190,268	固定負債合計	1,733,156
(売上債権)		負債合計	1,733,156
未 収 金	1,000,000	正 味 財 産 の 部	
売上債権 計	1,000,000	前期繰越正味財産	940,515
(その他流動資産)		当期正味財産増減額	△ 432,565
前 払 金	1,050,838	正味財産合計	507,950
その他流動資産 計	1,050,838		
流動資産合計	2,241,106		
資産合計	2,241,106	負債及び正味財産合計	2,241,106

財 産 目 録

特非) アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

[税込] (単位: 円)

2022年3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金 835

普通 預金 189,433

みずほ銀行丸之内支店 (56,320)

ゆうちょ銀行 (3,646)

ACLEDA BANK (129,467)

現金・預金 計 190,268

(売上債権)

未 収 金 1,000,000

売上債権 計 1,000,000

(その他流動資産)

前 払 金 1,050,838

その他流動資産 計 1,050,838

流動資産合計 2,241,106

資産合計 2,241,106

《負債の部》

【流動負債】

流動負債合計 0

【固定負債】

長期借入金 1,733,156

固定負債合計 1,733,156

負債合計 1,733,156

正味財産 507,950

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特非) アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

[税込] (単位: 円)

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	166,000
賛助会員受取会費	118,000

【受取寄付金】

受取寄付金	150,527
-------	---------

【その他収益】

受取 利息	171
為替 差益	19
雑 収 益	2,541,788

経常収益 計

2,976,505

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	626,925
臨時雇賃金	102,007
通 勤 費(事業)	21,044
人件費計	749,976

(その他経費)

印刷製本費(事業)	22,670
会 議 費(事業)	17,451
旅費交通費(事業)	366,509
車 両 費(事業)	139,892
通信運搬費(事業)	114,428
消耗品 費(事業)	267,356
水道光熱費(事業)	111,544
地代 家賃(事業)	623,405
租税 公課(事業)	65,702
支払手数料(事業)	262,474
支払 利息(事業)	△ 9
為替 差損	4,812
雑 費(事業)	473,332
	473,332

その他経費計	133,801	
管理費 計		189,528
経常費用 計		3,409,070
当期経常増減額		△ 432,565
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 432,565
当期正味財産増減額		△ 432,565
前期繰越正味財産額		940,515
次期繰越正味財産額		507,950

監査報告書

2022年6月10日

特定非営利活動法人
アジアの誇り・プレアビヒア日本協会
理事長 森田 徳忠殿

特定非営利活動法人
アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

監事 佐藤 敬



私は、特定非営利活動促進法第18条に基づき、特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会の2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類等（活動計算書、貸借対照表及び財産目録）について監査を行いました。

理事の業務執行の状況の監査に当たっては、理事会及びその他の重要な会議に出席し、必要に応じて質問を行いました。また、財産の状況の監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の方法により検討を行いました。

監査の結果、本法人の業務は法令、定款及び2021年度の活動方針、事業計画に基づき執行され、また会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って処理されているものと認められました。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類等が、本法人の2021年度の業務執行の状況及び2022年3月31日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

4 第3号議案：役員を選任、職務報酬および顧問について

定款第3章第13条及び18条第2項の定めにより、役員を選任、職務報酬および顧問について提案する。

NPO法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会のすべての役員について報酬は無償とする。

NPO法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会

2022年度・2023年度 理事・監事・役員候補者名簿				
2022年7月から2024年6月まで				
特定非営利活動法人アジアの誇り・プレアビヒア日本協会				
役名	氏名	備考	就任期間	報酬の有無
理事	森田 徳忠	現理事留任	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
理事	伊藤 一正	現理事留任	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
理事	中村 正孝	現理事留任	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
理事	小林 慶吾	現理事留任	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
理事	木村 丞一	現理事留任	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
理事	畑中邦夫	新	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
監事	佐藤 敬	現監事留任	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
顧問	伊那 義孝	元理事	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無
顧問	浅野 大介	元理事	2022年6月25日～ 2024年6月24日	無

理事6、監事1名、顧問2名

5 報 告 2022 年度 事業計画及び収支予算について

2022 度 事業計画（案）

5.1.1 事業実施の方針

自主事業、助成事業、各種委託事業をとおして、プレアビヒア地域の発展の基礎を確立する。以下、各分野別の事業概要である。

(1) 自主事業 ・ 自主事業 ・ 連携交流事業	① 会員派遣事業 ② 文化・技術支援事業
(2) 受託事業 ・ 助成事業 ・ 公的資金等の受託事業展開	① 緑の募金助成事業 ② 団体賛助会員連携事業 ③ 民間助成事業
(3) カンボジアNGO支援事業	① 現地NGO活動支援
(4) 広報活動の推進事業	① ホームページ更新・拡充 ② 会員向け広報事業 ③ 一般向け広報事業
(5) その他事業	① 定時総会開催 ② 理事会開催（毎月） ③ 会員の募集増強 ④ その他、定款に定める事業

5.1.2 実施内容

(1) 自主事業について

① 会員派遣事業

会員各氏の参加を促し、積極的な現地交流を強化する。

② 文化・技術支援事業

各種助成による環境事業と連携して、カンボジアの植樹祭を協会が主催し、環境活動、森林整備活動を実施。

(2) 助成・補助事業について

以下の各事業について、公募申請を予定。

① 緑の募金事業（2022年3月申請済み）

9-10月に現地で植林事業及びPR活動。

森林公園整備と併せて、果樹公園、花畑公園の整備も実施。

② 団体賛助会員連携事業

会員相互の活性化を目指し、団体賛助会員と連携した事業を企画実施。

③ 民間助成事業

現地の環境保全、公園計画などに連携して、市域住民と連携した環境保全活動を実施。植樹実施、環境教育の実施。

以上の、各事業で想定される予算は以下の通りで、総額 3,390,000 円を見込む。

No	事業名	想定予算（円）	管理予算（円）
1	緑の募金事業	1,500,000	150,000
2	団体賛助会員連携事業	100,000	10,000
3	民間助成事業	1,790,000	90,000
総 計		3,390,000	250,000

5.1.3 カンボジア NGO 支援

当協会のカンボジア組織となるカンボジア NGO について、その支援として以下を実施する。

(1) 現地プレアビヒアオーソリティと共同して、農業支援を実施。

また、カンボジア外務省との MOU 更新、オーソリティとの MOU 締結を行い、オーソリティとの共同活動を推進。

① 緑の募金事業支援

② N 連事業の実績を継続し、試験耕作の支援

- ③ 各種助成事業に基づく環境事業の支援
- ④ その他

(2) 日本からの支援による事務体制整備

カンボジア政府への納税処理、労働許可処理などへの対応、日本からの事業への経理対応のための事務支援を実施。

(3) カンボジア政府との連携

納税、年次活動報告提出、労働環境報告など実施。

5.1.4 会員確保強化

会員制度の変更に伴い、事業の展開と合わせて、会員の増強を図る。

<現 状>

区 分	会員数	備 考
正会員	14(24)	() は名簿、裸字は会費納入数
賛助会員 (個人)	19(43)	
賛助会員 (学生)	1 (1)	
賛助会員 (団体、企業)	3(3)	

<2021 年度末計画>

区 分	会員数	備 考
正会員	14→15	+1
賛助会員 (個人)	19→22	+3
賛助会員 (学生)	1→1	+0
賛助会員 (団体、企業)	3→5	+2

会費収入として、約 360,000 円を見込む。

また、賛助会員からの積極的な寄付金収入を獲得することと、団体・企業会員からの寄付金収入、講演会などの活動を通じた寄付金収入も計画する。

<寄付金獲得事業>

No	種 別	目 標 (円)	備 考
1	賛助会員寄付獲得	20,000	
2	団体・企業会員寄付	100,000	
		120,000	

5.1.5 広報活動

- (1) ホームページ更新・拡充

会員拡充、賛助会員拡充にホームページの更新・拡充は大きな役割を果たします。当協会のホームページは、2019年の更新から情報発信が進みつつあり、今年度も、以下を計画します。

- ① 協会からの発信（現地情報、事業状況、イベント発信、新着情報）
 - ② 会員からの発信（ニュース、関連情報など）
 - ③ 現地情報（NGO活動、オーソリティ活動、エコパーク等）
- 同時に英文での発信も進め、NGOのページ開設を目指します。

(2) 会員向け広報事業

会員向け広報として、①協会広報誌の作成（パンフレット）、②ニュースレターの創設を実施。メールでの配信、郵送での配信を実施します。

(3) 一般向け広報事業

ホームページや会員向け広報の情報の中から、一般向けとして現地活動の積極的PRを行うことを目標に、会員向け資料を作成し配布します。

5.2 2022年度 予算計画

2022年度収入計画

項目	内容	予算	備考
1.会費	正会員、賛助会員会費	360,000	
2.受託事業	助成事業、公的資金補助事業	3,390,000	
3.各種寄付金	会員寄付等	120,000	
合計		3,870,000	

2022年度支出計画

事業項目	事業内容	予算	担当理事、他
1.運営管理	運営管理に関わる事業	1,800,000	事務局
2.自主事業	① 連携交流事業 ② 支援事業	20,000	各理事
3 各種助成事業	① 緑の募金助成事業 ② 環境事業	2,000,000	各理事
5.カンボジア NGO 支援事業	・NGO 活動支援	20,000	各理事
6.広報事業	・ホームページ更新 ・関連広報実施	10,000	事務局
7.その他事業	① 総会開催 ② 理事会開催（毎月） ③ 事務局体制の強化 ④ 会員の募集増強	20,000	理事長、副理事長、 全理事
合計		3,870,000	

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会 2022年通常総会 議案書

2022年6月25日

アジアの誇り・プレアビヒア日本協会 作成